

2025年6月25日

## 「Hybrid ERにおける外傷性胸部下行大動脈損傷に対するステントグラフト内挿術の有効性-症例集積研究」

### 1. 研究の対象

2013年3月から2024年11月に当センターHybrid ERで治療を受けた外傷性胸部下行大動脈損傷の患者さん

Hybrid ERとは:救急外来にてIVR-CT(血管造影検査とCTを組み合わせた装置)を設置し、診断と治療を同時並行で行うシステム

### 2. 研究目的・方法

「目的」 Hybrid ERにおいて実施された胸部ステントグラフト内挿術の臨床的有効性を明らかにすること

「方法」 対象患者さんの臨床経過について調査を行う

「研究期間」 倫理委員会承認後～2028年12月31日

「利用又は提供を開始する予定日」 2025年9月1日～

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、受傷機転、損傷部位、ショックインデックス、外傷重症度、TEVAR施行内容、転帰、合併症など

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター救急診療科

研究責任者：診療主任 岡本 啓志

電話 06-6692-1201